

大阪経済の情勢（2025 年 11月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;10月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(10月)は、生産は上昇、出荷は低下。近畿の生産(10月)は低下。全国の生産(11月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(10月)は低下。

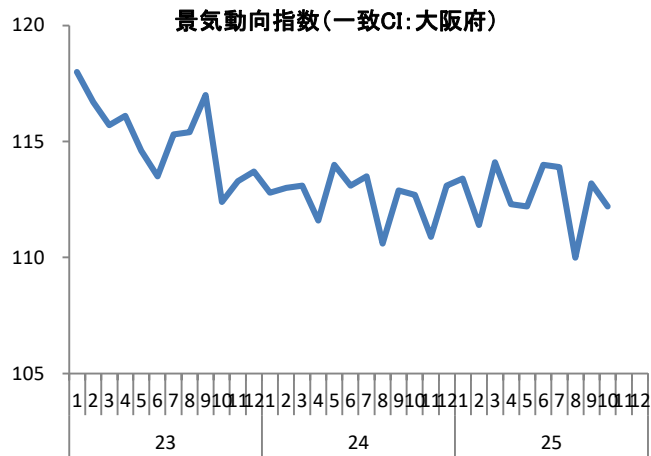
先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要									
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
11月		↗	↗	↗	↘	↘	↗	↗	↗
10月	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗

供給						*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。
	生産		倒産	雇用		
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
11月		↘	↗	→	→	
10月	↗	↗	↗	↘	↘	

●景気動向指数(CI)

大阪府(10月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「有効求人倍率」「所定外労働時間指数(製造業)」が低下に寄与。



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」※2020 年=100

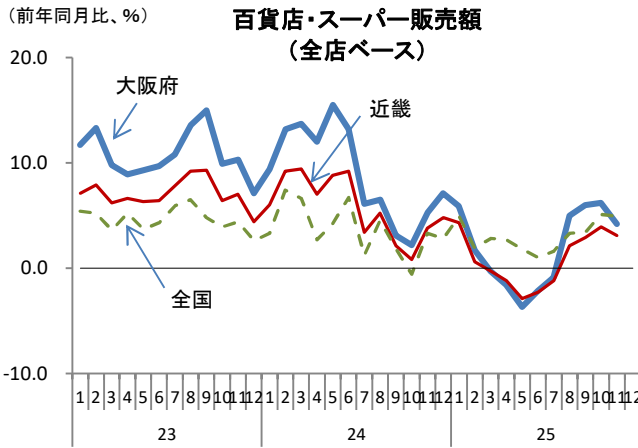
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、10月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.07	▲0.18	0.19	0.03	▲0.07	▲0.82	▲0.24

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;10月)は増加。



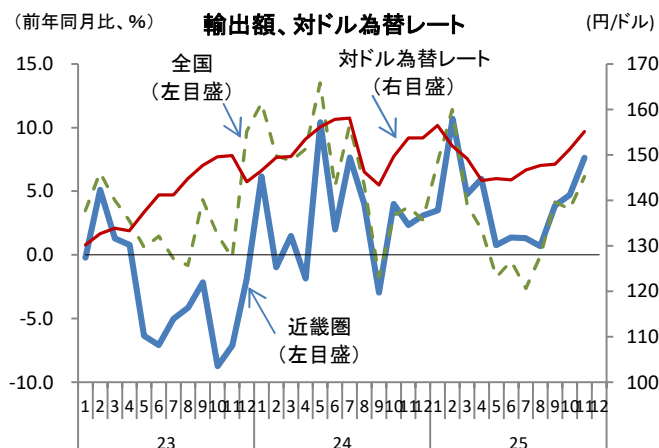
(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、11月速報）

大型小売店 合計		4.2
うち	百貨店	4.1
	スーパー	4.3

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

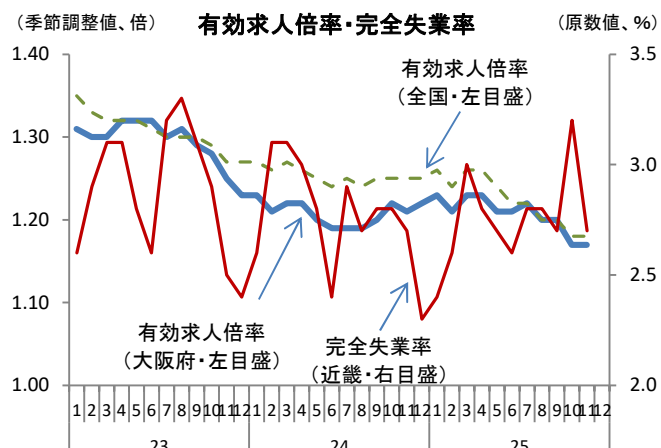
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、11月)

アジア(含む中国)	5.6	21ヶ月連続の増加
中国	5.3	3ヶ月連続の増加
ASEAN	0.8	2ヶ月ぶりの増加
EU	15.0	6ヶ月連続の増加
アメリカ	9.2	4ヶ月ぶりの増加

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(10月)は低下。



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

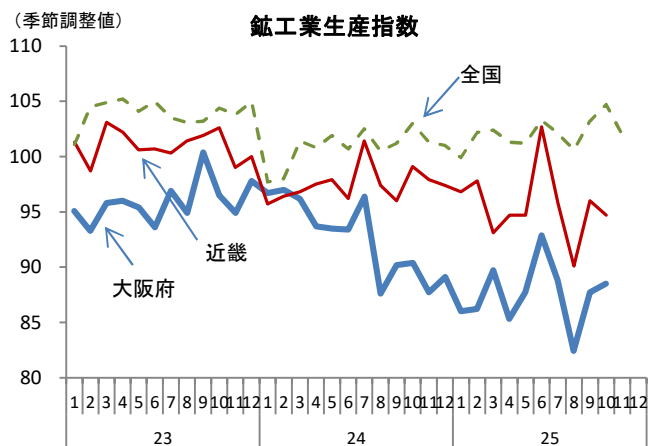
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、11月)

産業計	▲13.4
建設業	▲6.8
製造業	▲28.2
卸売業、小売業	▲25.0
宿泊業、飲食サービス業	▲30.3
医療、福祉	▲4.6

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(10月)では、生産は上昇、出荷は低下。近畿の生産(10月)は低下。全国の生産(11月)は低下。



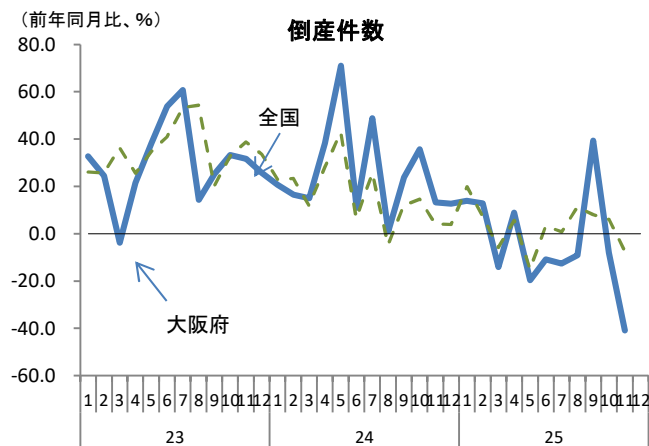
(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、10月速報)

上 昇	化学工業 (22.7) : 医薬品、ポリプロピレン 石油・石炭製品工業 (17.0) : ガソリン、ナフサ
低 下	金属製品工業 (▲27.2) : 橋りょう、架線金物 生産用機械工業 (▲3.9) : ショベル系掘削機械、産業用ロボット

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、11月)

業種	負債額(百万円)
食肉卸ほか	700
経営コンサルティングほか	354
電気設備工事ほか	300